

子育てサポーター養成講座

開催しました！



理事 石川 久美

「子育て中の親子に寄りそう、地域の子育てサポーターになりませんか？」と謳い開催している、水戸子どもの劇場主催の「子育てサポーター養成講座」。子育て支援に興味のある18歳以上の方を対象に、今年も6月6日、14日、21日の3日間の日程で開かれました。

子育てを応援したい！親子のチカラになりたい！そんな思いを持った15名のお申し込みを頂き、生後5ヶ月の赤ちゃん連れのママさんから、成人したお孫さんをお持ちの方まで、幅広い年齢層の参加者の皆さんとの出会いをととても嬉しく思いながら過ごした3日間でした。

1日目 グループワークで考えよう！

付箋を使ったKJ法のワークで、子育てサポーターとして心がけたいことを、グループ毎に話し合いました。



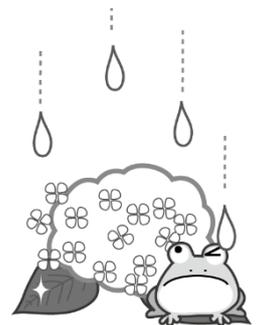
2日目 講義

子育てサポーターに大切な心構えを、講義やワークを通して考えました。支援の現場の様子として、劇場の活動も紹介しました♪



3日目 ロールプレイ体験

1日目、2日目のまとめとして、実際の支援の場を想定したグループワークを行ないました。



3日間の講義を終えて・・・

この講座を担当して7年目となりました。毎回、「今年はどんな方たちと出会えるだろうか!」と、ドキドキワクワク、ワクワクドキドキしながら当日を迎えますが、2024年もステキな出会いがあり、そしてとてもあたたかな空気感の中で、お互いを尊重しながらこの講座を開催できたことを嬉しく思っています。

この講座の中では、参加者同士が意見を交わす時間を毎回たくさんとっています。「支援者にこんな対応をされたら嫌だと思う」「こんな風に接して貰ったら嬉しい」と想像したり、自分の実際の経験を思い出したりしながら、話し合うのです。保育付きの講座にする事で、今まさに子育てをしている世代の方を参加者として迎えることができ、リアルな子育て中の困り事や、時代の流れの中で変化していることなど、生の声を取り込みながら、様々な気づきを得ることもできました。そうして、自分たちが考える“子育て支援者としての心得”を作り出していきました。

講師である私自身も、3人の子を持つ親です。双子を含む、年の近い子どもたち3人を育てる中では、子育てをサポートしてくれる周りの方たちの温かい言葉、行動に幾度となく助けられ、励まされてきました。一方で、支援をしてくれる方の何気ない言葉や行動が心にグサリと刺さり、トゲがなかなか抜けない事も少なからずあって、そんな経験から生まれた思いが、この講座を開催するモチベーションにも繋がっています。

「専門家では無い地域のサポーターによる子育て支援」「こどもの劇場の講座だからこそ伝えられる寄り添い方」今年も受講者の方に伝えることができました。受講して下さった皆さんが、これから地域の子育て支援に携わってくださることを楽しみに思っています。

(そして、劇場スタッフの皆様、事務局の皆様のご協力なしでは成功させる事はできませんでした。この場を借りて御礼申し上げます。改めて感じましたが、劇場のチームワークのな～んと凄いこと!!その一員で居られることを誇りに思いました!!)

参加者の感想より・・・



どんな子育て支援があるのか、自分にも何かできることはあるのかと思い、受講しました。

傾聴の大切さに気づきました。

話を聞いてとても楽しかったし、興味深く、理解も深まり、そして難しさも感じました。

この講座を受講して、親に寄り添ってあげたいという思いが大きくなりました。

子育て支援について温かく丁寧にお話していただき、ありがとうございました。参加者の皆さんのお話も、楽しかったです!



私自身が、こどもの劇場の活動に、とても助けられたひとりです。ありがとうございました。

